

長野県・山梨県からの国際貿易に清水港を使わない手はない

中部横断自動車道経済懇談会

新興マタイ(株) 社長 谷津和孝

国際貿易港清水港の活用

当社は長野県佐久市に本社を置き、主にクラフト紙袋の物流包装資材や太陽電池を中心とした再生エネルギーの販売を行っております。清水港を基盤とする鈴与グループの一員として、より清水港をご利用いただきたいという立場で、中部横断自動車道全区間の早期完成に期待を寄せています。

長野県ならびに山梨県は「レタス」や「りんご」、あるいは「ぶどう」といった高品質な品目を産出する農業生産県であります。一方で多様な食品加工メーカー様や数多くの機械メーカー様が立地されており、身近な国際貿易港清水港に携わる鈴与にとっても非常に魅力的な県となっています。

鈴与では、中部横断自動車道の完成に合わせて、より多くの皆様に清水港をご利用いただきたく、静岡県庁、静岡市役所、ならびに民間の物流会社などと官民一体となって誘致活動を展開してきています。この誘致活動を進める中でも、多くの方々から中部横断自動車道の早期全線開通を待ち望む声を頂いています。特に野菜や果物を市場に出すには輸送時間の短縮が生命線です。安定した工場の稼働には、災害時も含めた確実な原材料の供給のための輸送網が不可欠であり、まさにそうした期待を込めたご意見と考えております。

長野県・山梨県からの取扱量増に向けた準備

現在鈴与では野菜、果物、切り花などの生鮮品を清水港から輸出する仕組みを構築しております。政府では、日本からの農水産物や食品の輸出額を1兆円規模まで拡大していこうとする取り組みが進んでいます。これまで海上コンテナでは鮮度の維持が大変難しかったのですが、鈴与では鮮度維持が可能な特殊コンテナを使った輸出の仕組みづくりを構築しています。リンゴやぶどうといった長野・山梨・静岡の名だたる農産物が、ひとつのコンテナに詰められて、中国・台湾・東南アジアに向けて輸出される、こんな絵を描いているところです。

清水港を知って、使っていただく

清水港の関係者が一同に介して清水港の紹介をさせて頂く「清水港／富士山静岡空港セミナー」をこの7月に甲府市で開催いたします。また秋口には長野県の皆様を対象に清水港の物流視察会も計画しております。

是非、清水港を皆様方の海の玄関口としてご利用いただきたい。そのためには、中部横断自動車道の全線開通が不可欠です。一刻も早い全線開通を切にお願いさせていただきます。